

Q17 各戸貯留への取り組みは？

A17 計画規模あるいは整備水準を超える降雨が頻発し、流出量も増大しており雨水の排除のみの対策では限界があります。このため、武庫川も含め、流域全体で雨水の流出抑制を目指した貯留・浸透施設の整備に向け、県は下記のような取り組みを行うこととしています。

貯留・浸透効果のわかりやすいパンフレット、マニュアル作成などの普及啓発活動を行う。

関係市に各戸貯留・浸透などを取り組むための各種助成事業や補助事業の活用を促す。

関係市に開発者に対して、貯留・浸透施設設置を要請する取り組みを促す。

なお、宝塚市では、平成16年度より市民の雨水貯留施設設置に対し助成を行っており、平成19年度末での設置数は92基となっています。



写真1 雨水貯留施設の設置状況